

新たなるレジェンド “視界没の行方”

有明発—羽田着 飛行距離約9km飛行時間約60分間

9月26日(日)東京臨海広域防災公園・そなエリア東京での「紙飛行機体験会」にインストラクターとしてご参加いただきました新川和誠さんがイベント前に飛ばしていたハンドランチ機(ホワイトウイングス レーサー590)が南西の上空に天高く舞い上がり、視界没しました。その機体が、東京国際郵便局羽田分室の方により回収され、日本紙飛行機協会へのお問合せにより、無事にご本人へ戻りました。機体にご本人のお名前が書いてあったので、回収された方が各所に問合せ下さったとのことです。江東区有明の公園から羽田空港までは直線距離で約9km、秒速5mで旋回飛行したとして約60分間飛行したことになります。しかし、離発着が多い羽田空港でFOD(Foreign Object Damage)にならなかったことも幸いです。回収していただいた郵便局の皆様には厚く感謝申し上げます。また、ご自分の機体にはきちんと名前を書いておいてくださいね。(記 小松)

以下は新川さんからのレポートです。

9月28日(日)10:00頃、有明の東京臨海広域防災公園より飛ばしたR590が視界没した。そのまま羽田空港の新東京郵便局羽田分室の2階吹き抜け部分まで飛行した模様。Yahoo地図によると直線距離は8.98km。発見は翌29日(月)とのこと。発見者は植木氏。保管していただいたのは二木氏(経理課課長)。9月30日(火)日本紙飛行機協会の荒木氏より連絡があり。私の名前が書かれた紙飛行機が羽田空港の郵便局にあるから、先方に連絡してくれとのこと。新東京郵便局羽田分室の二木氏に連絡を取り、翌日取りに行く旨の話になる。10月1日(水)羽田空港の敷地内にある新東京郵便局羽田分室に伺う。二木氏他多くの方に出迎えられて機体を受領する。ほとんど無傷なことに感動！その後、落ちていた場所の他、屋上に案内して頂き、飛来方向の確認と隣り合わせた滑走路の飛行機を間近で見せて頂いた。

以下、写真の説明

- 01 Yahoo地図より
- 02 発見場所 2階吹き抜け
- 03 3階屋上から見た2階吹き抜け この狭い場所に落ちてくれたお陰で、割と早く発見された。もし屋上に落ちていたら暫くの間は放置されていたとのこと。
- 04 同屋上にて記念写真。向って左から二木氏、植木氏、私
- 05 植木氏に発見当時の話を聞く。
- 06 新東京郵便局羽田分室社屋 このエリアは一般人立ち入り禁止である。
- 07 羽田空港ターミナルより 遙か対岸に有明地区が見える。
- 08 見事、無事に戻ってきた愛機R590 去年の二宮杯に出場した機体だ。



図01

図02



図03



図04

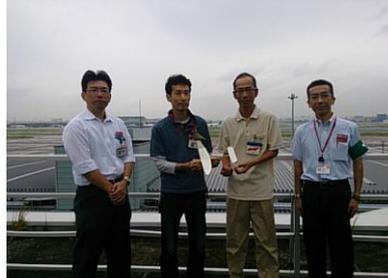


図05



図06



図07



図08

